

## 健康アドバイス

### 鼠径（そけい）ヘルニアについて

みやぎき外科  
ヘルニアクリニック  
院長 宮崎 恭介

鼠径とは、脚の付け根で腹壁の一番下の場所です。鼠径ヘルニアとは、この場所の筋膜のすき間（穴）からおなかの臓器を包んでいる腹膜や腸が飛び出して、皮膚の下が盛り上がってくる病気で、俗に脱腸と言われています。五歳未満に多い小児鼠径ヘルニアと、五十歳以上に多い成人鼠径ヘルニアの二つがあります。基本的にはあらゆる年齢層に、男女ともに起こり得ます。鼠径ヘルニアには一部遺伝性があります。成人鼠径ヘルニアの多くは老化により筋膜が弱くなるのが原因です。

典型的な症状は、立つと鼠径部が膨らんで、横になると膨ら

みが小さくなるという症状です。最初はお風呂で体を洗っている時などに小さな膨らみとして気付くことが多いのですが、放っておくとだんだん大きくなります。男性の場合は陰囊（のうま）で膨らみが下がってきて、かなり大きくなる方もいます。多くの場合、飛び出てくるものが小腸や大腸なので、出た状態が長く続くと鼠径部に痛みが出たり、腸の流れが悪くなつて便秘になったりします。働き盛りの方は力仕事、長時間の立ち仕事や車の運転をする場合に鼠径部に不快感が出て、仕事に支障を来すこともあります。また、出

なくなつて、腸が壊死する（腐る）こともあります。この場合は、緊急手術が必要になります。診断は、受診時に鼠径部に突出を認めれば容易に診断できます。しかし、受診時に鼠径部の突出を認めなくても、注意深い触診や超音波検査により診断が可能です。治療は、一歳未満の小児鼠径ヘルニアでは、ごくまれに自然治癒することがありますが、基本的には鼠径ヘルニア根治術によつて腹壁の穴をふさがなければ治りません。また、残念ながら手術以外の予防法はありません。

# 北海道新聞

## 夕刊

2003年  
8月18日 月

発行所  
北海道新聞社  
〒060-8711  
札幌市中央区大通西3丁目6  
電話 011-221-2111

読者センター  
電話 011-210-5888

インターネットで道新ニュース  
[www.hokkaido-np.co.jp](http://www.hokkaido-np.co.jp)

ご購入申し込みは  
0120-464-104

© 北海道新聞社 2003